

第2回
メセナ大賞
1992

MECENAT AWARDS 1992



Association for Corporate Support of the Arts
社団法人 企業メセナ協議会

ごあいさつ

第2回「メセナ大賞」の授賞式にあたりまして、主催者を代表して一言ご挨拶申し上げます。

「メセナ大賞1992」を受賞される企業・企業財団の皆様、本当におめでとうございます。関係者の皆様に心よりお祝い申し上げますとともに、公平かつ真摯に選考を重ねてくださった審査委員の皆様、そして本日ご多忙中をご来席くださいました大勢の皆様、心からお礼申し上げます。

この「メセナ大賞」は過去1年にわたってくに優れた芸術文化支援活動を行った9企業・企業財団にメセナ賞をおくり、その中からさらに1992年度の大賞、特別賞をおおくりするもので、今回は昨年に引き続き第2回になります。

今回は、自薦・他薦で139企業・企業財団から201事業のご応募をいただきました。ご応募の事業はいずれも素晴らしいものばかりで、選考が大変だったとの報告を受けております。経済状況が厳しい昨今、「メセナどころではない」とか「メセナは危機」とかいう声が聞こえたりいたしますが、この応募をみてみますと、全国各地で積極的に多様なメセナ活動が展開されていることを知ることができ、たいへん心強く嬉しく感じている次第です。

本日、晴れの受賞に輝く企業の事例は、とりわけ創意あふれる企画であり、芸術に対する熱意に溢れ、継続性にすぐれ、社会への貢献度の高いものばかりでございます。

今日の授賞式を機会に、全国で健全かつ有益な企業のメセナ活動が一層増え、充実し、ひいては日本の、そして世界の芸術文化の振興、向上に寄与していただくことを願ってやみません。

社団法人 企業メセナ協議会

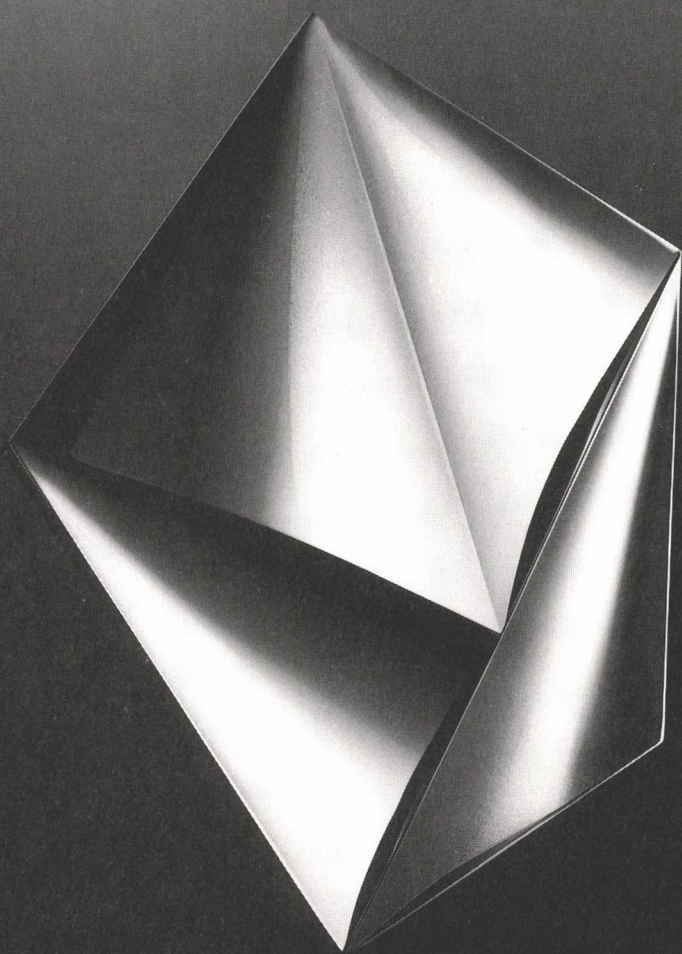
会長 鈴木 新太郎

メセナ大賞とは

わが国に所在する企業および企業財団によって
1991年度内〔1991年4月1日～1992年3月31日〕に行われた
メセナ（芸術文化支援）活動のうちで、
芸術文化振興にすぐれた貢献を行った企業や
企業財団にメセナ賞をおくり、さらにその中から、
メセナ大賞、メセナ特別賞を選定し、授賞するものである。
「メセナ大賞」は、企業メセナの一層の充実とこの問題への
世論の関心を高めることを目的として、昨年度創設された。

トロフィー制作 ● 多田 美波 / 彫刻家
〔最近の主な作品〕東京都芸術劇場にレリーフ「調」
東京都新都庁舎に彫刻「滞」
埼玉県上尾市新市庁舎に吊彫刻「光彩」を制作

MECENAT AWARDS 1992



審査委員



照明デザイナー
石井 幹子



都市建築家
東京大学助教授
藤森 照信



世田谷区立
世田谷美術館
館長
大島 清次



大和総研(株)
理事長
宮崎 勇



作曲家
三枝 成彰



劇作家
大阪大学教授
山崎 正和



財日本舞台
芸術振興会
専務理事
佐々木忠次



社企業メセナ
協議会理事長
福原 義春



岩波ホール
総支配人
高野 悦子

(敬称略・五十音順)

選考の経過

「メセナ大賞1992」は、4月初旬から6月30日の応募期間中、全国各地の139企業・企業財団から寄せられた201件の芸術文化支援の案件を対象とし、左記9名の審査委員の慎重かつ公平な選考を経て決定された。

二次の審査委員会の討議によってまず9件のメセナ賞入選が決まり、最終選考でその中から大賞1、特別賞3の授賞が決定した。本年度の審査委員会では「世の中が最も必要としていながら、これまで欠けていた支援を重視しよう」という点が特に強調され、あわせて、「企業財団の活動を評価しよう」という意向が認識された。また、審査員各氏はメセナ概念をどう明確化して行くか、日本型メセナのあるべき姿、企業本来の活動とメセナとの関連等々についても突っ込んだ討議を重ねながら応募案件を一件一件入念に検討した。

選考基準として特に次の4点が考慮された。

- そのメセナ活動が、芸術文化および社会に与えるインパクトや貢献度が高いもの。
- そのメセナ活動の芸術文化との関わり方にオリジナリティがあるもの。
- そのメセナ活動が、社会に好感をもって受け入れられているもの。
- そのメセナ活動への取り組みに継続性のあるもの。

本年度の授賞が、わが国の企業メセナ活動の一つの指針となり、その一層の活性化に役立つことを期待したい。

社団法人 企業メセナ協議会
専務理事 根本長兵衛

■ プログラム

第2回 メセナ大賞 授賞式

日時/1992年11月30日(月)14:00～15:30

会場/草月会館(草月ホール)

東京都港区赤坂7-2-21

司会・進行 森田美由紀(NHKアナウンサー)

14:00 オープニング

- 開会のあいさつ……………鈴木 治雄(社企業メセナ協議会会長)
- 来賓祝辞……………内田 弘保(文化庁長官)
- 朝倉 摂(舞台美術家)

14:15 受賞企業表彰

- 選考経過報告……………根本 長兵衛(社企業メセナ協議会専務理事)
- 入賞企業 発表・表彰
- 特別賞 発表・表彰
- メセナ大賞 発表・表彰
- 審査委員会講評……………宮崎 勇(大和総研株理事長)

15:30 エンディング

- 閉会のあいさつ……………福原 義春(社企業メセナ協議会理事長)

●閉会后、草月会館2階にて、記念レセプションを開催いたします。



メセナ賞入賞企業

(五十音順)

株式会社 紀伊國屋書店

〒163-91 東京都新宿区新宿3-17-7

シヤチハタグループ

〒451 愛知県名古屋市西区那古野2-12-10(シヤチハタ工業株式会社)

財団法人 末永文化振興財団

〒814 福岡県福岡市博多区博多駅東2-10-16 寿軒ビル

株式会社 すかいらーく

〒160 東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル16階

セゾングループ

〒170 東京都豊島区東池袋3-1-1サンシャイン60 33階 (株式会社西洋環境開発)

日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106 東京都港区六本木3-2-12

ぴあ株式会社

〒102 東京都千代田区麴町2-5

株式会社 紅三

〒135 東京都江東区新大橋2-17-12

財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

〒104 東京都中央区銀座1-7-7 ポーラビル3階

株式会社 紀伊國屋書店

KINOKUNIYA Co., Ltd.

「紀伊國屋ホール」の運営

■新劇の甲子園

紀伊國屋ホールは1964年に新宿の一等地に開場されて以来、劇場使用料を低料金に設定し、優れた劇団に貸し出すことによって、常に良質の演劇を提供してきた。同時に、劇作家井上ひさし氏がかつて紀伊國屋ホールを「新劇の甲子園」と評したこともあるように、若手劇団に同ホールでの公演の機会をつくることにより、世に送り出す役割も果たしてきた。若手劇団の登用に際しては、支配人をはじめとするホールのスタッフが自ら劇場に足を運び、これはと思う劇団に対し紀伊國屋ホールでの公演を勧めている。つかこうへい事務所、夢の遊眠社、第三舞台など、多くの若手劇団が紀伊國屋ホールでの公演を機にメジャーへの進出を果たしていった。さらに1966年からは、その年度に優れた成果をあげた演劇団体および個人に対し、「紀伊國屋演劇賞」を贈呈している。以来、ホールの運営と表裏一体となつての支援活動は演劇人たちの励みとなっている。1991年度は特に、つかこうへい事務所の1000円シアター「熱海殺人事件」の公演に協力し、多くの観客にも喜ばれた。

■演劇界に対する息の長い支援活動を

「自分たちの劇場で自分たちの観たい芝居を上演していく」ことが活動の基本となっているように、演劇に対する深い愛情に支えられた支援活動である。「『継続は力なり』という言葉があるが、今最も必要とされているのは息の長い支援活動である」との考えから、(株)紀伊國屋書店は、ホールの運営や演劇賞の贈呈を通して、今後もあるべき21世紀を目標に、演劇を愛する人たちに対する支援を続けていく姿勢である。

シヤチハタグループ

SHACHIHATA Inc.

「ジャパン・アート・スカラシップ」の協賛

■若手芸術家に創作の機会を提供

「ジャパン・アート・スカラシップ」は、素晴らしい感性と構想を持ちながらも、経済的な理由などで作品化する機会に恵まれない若手作家を継続的に支援していく方法として生み出された新しいアートのコンテストである。これは東京・青山スパイラルガーデンのアトリウムという特定の空間(直径13m、高さ15m)を意識した作品プランと展示プランを募集し、グランプリ受賞者には制作展示費として1000万円が援助されるというものである。完成した作品はスパイラルガーデンにて展示される。応募資格として35歳以下という年齢制限を設定するなど、若手の芸術家に対する新しい支援のかたちとして話題を呼んでいる。1991年は10月25日から11日間にわたり「第1回ジャパン・アート・スカラシップ・グランプリ作品発表会」が開催された。グランプリ受賞者には制作展示費のほか、ニューヨーク研修旅行のための往復航空券(オープンチケット)とホテルチケットが贈呈される。

■「生活文化価値創造企業」を目指して

シヤチハタは、文化的道具としての文具を扱っていることから、「生活文化価値創造企業」を目指している。そのため、幅広く社会活動へ参加することによって、時代の求める新しい価値を創造し、生活文化の向上に貢献していきたいと考えている。その方針のもと、可能な範囲で文化活動への支援を行い、今日芽生えつつある新しい文化を継続して育てていくひとつの方法として、「ジャパン・アート・スカラシップ」をスタートさせた。

財団法人 末永文化振興財団

SUENAGA FOUNDATION FOR CULTURAL UNDERSTANDING

「末永文化センター」の運営

■九州交響楽団に練習場と本拠地を提供

博多駅弁・寿軒社長の末永直行氏が遺産として譲り受けた土地を提供、1987年、末永文化振興財団(理事長安川寛)を設立、末永文化センターを建設した。センターのメインである音楽練習場は、「ぜひ練習場が欲しい」という九州交響楽団の懇願に対し、理事で音楽に理解のある末永氏が応える形で実現したもので、設計の段階から九響の希望を聞き入れながら建設されている。ここを訪れた音楽家のメニューイン氏が「世界一素晴らしい練習場だ」と絶賛したほど広く、音響も環境も抜群である。九響の本拠地として事務室もセンター内に設置している。九響の練習日以外の日は広く一般の音楽や演劇の会場として開放している。同センターは音楽練習場の他に九州日仏学館の国際交流館、ギャラリー、福岡YMCA国際専門学校などを併設しており、地域住民に開かれた、音楽、国際交流の場として活動が続いている。この練習場建設は他交響楽団の練習場確保運動への呼び水となった。プロの交響楽団への支援と、地域への貢献として意義が深い。

■地域の音楽文化と国際交流の発展を願って

このセンターは地域社会に密着した、活力ある芸術文化の土壌を育む拠点をめざして、設立された。日本の都市には完成された演奏発表や作品展示の場はあっても、最も大切な練習・創作活動の場が少ない。九響の常設練習場を提供するのみならず、芸術の香りただよう豊かな空間を形成し、今後の九州・西日本の音楽文化発展の中心になるよう、そして市民に身近で親しみやすく、落ちついた中にも活力のある国際交流の場となるように、と願って運営されている。

株式会社 すかいらーく

RESTAURANT SKYLARK Co.,Ltd.

（財）東京交響楽団の演奏活動支援

■税制及び継続的支援の問題を克服

すかいらーくグループは1988年以来、株式公開企業4社による利益を1%クラブ方式で拠出し、その財源の一部を東京交響楽団に寄付している。しかし、同楽団は特定公益増進法人に認定されているが、現行の寄付税制における免税限度枠の狭さでは、同グループは多くの寄付を出来ない。そこで考え出されたのが100%出資の子会社(株)すかいらーく東京交響楽団の設立である。この会社は年間百数十回に及ぶ同楽団の自主公演の興行を請け負い、一般はもちろん、グループ従業員約5万人対象のチケット販売や出資金の運用などで増収を図り、その収入を演奏会のつど出演料などを通じて同楽団に分配している。また、同楽団は1964年の不況時に某社と結んでいた専属契約が破棄されたことがあり、景気の動向に左右されない支援を同楽団が要望したこともこのスタイル採用の一因となっている。この支援により楽団経営にゆとりが生まれ、賃金の増額、練習場の改装など多くの待遇改善がなされ、結果として楽団員の定着、演奏技術のレベルアップにつながった。

■将来は世界一の交響楽団に

分権分社化を進めるすかいらーくグループでは、行く末は株式上場を目標に多くの子会社を設立している。(株)すかいらーく東京交響楽団も独立採算で賄えることが期待されている。

①金を出しても口は出さず、②長期的ビジョンを持ち、③宣伝色を排除し、④対象を一点に集中する。以上の一貫した支援理念に基づき、すかいらーくでは「世界一の交響楽団になることを夢見て東京交響楽団を支援し続ける」構えである。

セゾングループ

THE SAISON GROUP

「MUSIC TODAY '91」の開催

■新しい音楽の創造に大きく貢献

1973年からスタートした現代音楽祭「MUSIC TODAY」は1991年で19回を迎えた。当初より、現代における音楽の創造の問題に一貫した視点から光をあて続けたこのフェスティバルは、「ここ数年、世界でも最も注目を集める活動になっている」との認識を国内外の作曲家、演奏家そして聴衆から得るに至っている。作曲家武満徹氏の企画・構成のもと、同時代の創造的な作曲家の作品をまとめて紹介する「作曲家の個展」、優れた演奏家の活動を紹介する「演奏家の個展」を中心にすえ、その時々の問題意識に基づく様々なテーマのもとにコンサートが催されてきた。また、35歳以下の作曲家の作品を募集し、選ばれた10数曲の作品を実際に演奏して受賞作を決定する「今日の音楽・作曲賞」も1982年より3年ごとに行っており、19回の今回はその第4回本選コンサートが行われた。なお、スタートした当初よりセゾングループ各社が協同で運営してきたが、19回からは㈱西洋環境開発が1社で全ての運営をとり行っている。

■個的なものの普遍化を目指して

「将来、普遍的な評価を受けるであろう芸術作品は、現在我々の身の回りにいる柔軟な精神と想像力をもつ芸術家によって創作されているものであり、彼らの活動を支えていくことは同時代に生きる者の務めである」との認識のもと、セゾングループでは現代芸術の支援に取り組んでいる。美術分野ではセゾン美術館、演劇・舞踏ではセゾン劇場、音楽では「MUSIC TODAY」等を通して、幅広く現代芸術を支え、あるいは創造活動の一端を担っている。

日本アイ・ビー・エム株式会社

IBM JAPAN, Ltd.

「IBMウェルフェア・コンサート」の開催

■障害者施設で生の演奏会を

日本アイ・ビー・エム(株)では、「よき企業市民」としての役割を果たすべく、「IBMウェルフェア・セミナー」を始めとする障害者支援プロジェクトを1974年より展開してきた。その一環として、1986年、障害者の芸術文化環境をより豊かにすることを目的としたプロジェクト「IBMウェルフェア・コンサート」がスタートした。これは移動困難な重度の障害者も居ながらにして一流の生演奏に接することができるよう、全国の重度障害者施設において日本フィルハーモニーのメンバーによる演奏会をやさしい解説付で行うというものである。1991年度までに全国総計41施設で開催、コンサートには施設近隣の方々も招待し、障害者と社会との交流を図り、また社員自らチラシを作成するなど、手作りの支援活動を行っている。

そのほか障害者の文学創作活動に光をあて、賞を贈る「わたぼうし文学賞」に対し、1986年より財政面などから支援し続けるなど、障害者の精神的充足を目指した支援活動に積極的に取り組んでいる。

■障害者に豊かな文化的環境を

日本アイ・ビー・エム(株)の社会貢献活動の一環として取り組んでいる障害者支援プロジェクトは、障害者の精神的充足を図ると共に、社会との垣根を取り除きコミュニケーションの向上・促進を図る機会を提供することを目的としている。障害者が社会の一員として様々な分野で活躍するばかりでなく、優れた芸術文化を享受し、より豊かな生活を営むことができるようお願い、様々なプログラムを推進している。

ぴあ株式会社

PIA CORPORATION

「PFF '91(ぴあフィルムフェスティバル)」の開催

■過去に数多くの映画監督を発掘・育成

「PFF」のテーマは「映画の新しい環境づくり」。1977年の「自主製作映画展」が、今ではコンテスト、スカラシップ、映画祭の3部門の活動に発展した。

「PFFアワード」は8ミリフィルムやビデオによる自主製作の映像作品を公募し、受賞作品を選定する映像コンテスト。受賞作品は全国の主要都市で公開され、グランプリには賞金100万円を贈呈。1977年以来、入賞作品206本の中から20人のプロの映画監督が巣立っており、いまでは映画界の登龍門として広く認識されている。「アワード」で発掘した優秀な才能のさらなる飛躍のために「PFFスカラシップ」を創設。「アワード」受賞者の中から1～2名を選定し、その作家の監督作品を3000万円の製作費をかけ、ぴあ(株)がプロデュースする。また、興行採算的問題を理由に一般上映が困難な良質の映画を紹介する映画祭「PFFプレゼンツ」を開催するほか、「アワード」入選作等約100本を集めた「ぴあフィルム・ライブラリー」も開設している。

(1991年度協賛企業:佐藤工業(株)、(株)東京放送、日本衛星放送(株))

■若い才能とエネルギーを応援

企業スローガンは「アミューズメント・サプライヤー」。ぴあ(株)では人々がより豊かで生き生きとした生活を営むため、様々な提案をしていきたいと考えている。文化・芸術の活性化と若い才能の発掘・育成はその中でも最も大きな使命の一つ。「実際の活動を通じて、映画ファンや映画づくりを目指す若者たちの優れた才能とエネルギーを活かし続けていくこそメセナ活動だ」と考え、今後は国際化に向けて、さらに活動を拡大していく方針である。

株式会社 紅三

BENISAN Co., Ltd.

「ベニサン・スタジオ」、「ベニサン・ピット」の運営

■廃工場を演劇生産工場として再利用

(株)紅三が自社の廃工場を改造し、2つの稽古場で松竹ベニサン・スタジオを開設したのは1983年。工場移転後の再開発を考案中の折、稽古場として利用したいとの依頼に応えたことがきっかけだった。東京の演劇界が慢性的な稽古場不足に喘いでいる状況や、建物のスペースが稽古場として使いやすい点を知り、改造計画がスタートした。以後、演劇関係者からの要望に応える形で協力し、現在11のスタジオと小劇場・ベニサン・ピットを所有する「東京の演劇村」として、さかんに利用されてきた。年間約50の劇団が利用し、これまでに300本以上の芝居がこの稽古場から誕生している。

芸術の生産に貢献していながら、1000坪もの土地面積を保有するために地価税負担という逆風に直面しているが、オープン後いまだスタジオ代を値上げせず、商業演劇以外の劇団からは實際上利用料金を割引くなど、陰ながら劇団の支援に務めている功績は大きい。スタジオは面積300平方メートル前後（約80坪～100坪）、高さ約3メートルと、都内では他に得られないほどの広さと高さを有している。

■下町文化の活性化に住民からも好評

(株)紅三は1875年創業の染色業を営む企業。「百年もこの土地で商売をやらせてもらったのだから社会奉仕も悪くない」とは阿部十三社長の弁。工場跡地の再利用案としてマンション建設などが候補に挙がりながら「演劇村」づくりを手掛けた理由には、下町文化に活気を取り戻すために貢献したいという願望が込められている。1日約500名の演劇人の出入りや、稽古の最終日には必ず行う無料の公開稽古により、地元文化的色彩が生じ、地域住民からも好評を得ている。

(財)ポーラ伝統文化振興財団

POLA FOUNDATION FOR THE PROMOTION OF TRADITIONAL JAPANESE CULTURE

わが国の伝統文化の保存、伝承、普及、振興に関するメセナ活動

■無形の伝統文化を後世に伝えていくために

1979年創立50周年を記念して設立されたこの財団は、わが国の歴史と風土の中で磨きあげられてきた数多くの伝統文化を保存し、振興することを目的として、地道に、着実に、様々な活動が続けている。映像記録作成事業として、「伝統工芸の名匠」「伝統芸能の粋」「民俗芸能の心」の3シリーズを中心にこれまで25本の記録映画が完成されており、1991年度には「世阿弥の能」「磯井正美のわざー蒔醬の美」の2本が制作された。奨励事業として、伝統文化に関し優れた業績をあげた個人、団体を見つけたし、「伝統文化ポーラ大賞」「伝統文化ポーラ特賞」を贈呈。1991年の大賞には民俗芸能で功績のある本田安次氏、特賞には加賀友禪、和鏡制作、歌舞伎地方・長唄三味線、箏・三絃・胡弓、村歌舞伎などに関わってこられた方々の6件が選ばれた。また、無形の伝統文化に関する記録や研究に対して毎年600万円の助成事業を行っている。普及事業として機関誌「伝統と文化」の発行、記録した映像の公開上映、無料貸出し、「講演と映画のつどい」などを実施した。

■的を絞って、きめ細かく、水準高く、地道に

主にわが国の優れた伝統芸術(民俗芸能も含む)と伝統工芸という無形の技芸に的を絞り、その伝承者・創造者とそれを支える裏方さんの顕彰・助成から、研究の助成、記録資料の保存、そして一般への普及活動まできめ細かくいき届いたやり方で、まことに地味ではあるが水準の高い、よく目配りされた愛情のある仕事を積み重ねている。「ポーラは一切口を出さない」という社長の方針のもとに優れた人材を揃え、10年以上一貫した方針で活動している。

メセナ大賞1992応募企業一覧 (五十音順 ※は他薦)

- (株)アートネイチャー(東京都)
「加藤楸邨記念館」の設立
- アイカ工業(株)(愛知県)
「第26回アイカ現代建築セミナー」の開催
- 朝日酒造(株)(新潟県)
「蛭の里」越路町づくり
- 朝日生命保険(相)(東京都)
「新都心プロムナード・ギャラリー」の運営ほか
- 朝日放送(株)(大阪府)
「ABCギャラリー」の運営
- (株)足利銀行(栃木県)
「ファミリー・コンサート」の開催ほか
- 足利商工会議所青年部(栃木県)
イベント「婆沙羅童夢(バサラドーム)」の開催
- (財)味の素食の文化センター(東京都)
「食の文化」活動
- アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc.(東京都)
「カンボジア・アンコール遺跡修復・調査」の援助ほか
- イカリ消毒(株)(東京都)※
「美しい街づくり～さくら・ふるさと街づくり運動～」
- (株)上田商会(東京都)
本社ビル内ゲスト・ルームの建設及びその一般開放
- (株)内田洋行(東京都)
「エレガンス ジャズ フィーリング」の協賛ほか
- (財)エー・ビー・シー音楽振興財団(大阪府)
「第1回ABC新人コンサート」の開催ほか
- エッソ石油(株)(東京都)
「日本ナショナル・ミュージック・キャンプ」の協賛ほか

- **大阪ガス(株)**(大阪府)
「ジオ・カタストロフィー」研究
- **大塚化学(株)、大塚製薬(株)**(大阪府)
「WAVE2000 夢の学校」の協賛
- **(財)岡田文化財団**(三重県)※
三重県内における文化振興事業
- **オリックス(株)**(東京都)※
「オリックスコレクション」の世田谷美術館への寄託
- **川崎製鉄(株)、(財)川鉄21世紀財団**(東京都)※
設立40周年記念事業におけるメセナ諸活動
- **勸角証券(株)**(東京都)
ダンス・ワークショップへの会場提供
- **(株)煥乎堂**(群馬県)
「八人の創造者 一本と絵と彫刻展一」の開催
- **関西電力(株)庄川電力所**(富山県)
「利賀そば祭り」への雪像制作出展
- **(株)紀伊國屋書店**(東京都)
「紀伊國屋ホール」の運営ほか
- **キヤノン(株)**(東京都)
「アート・ラボ」の運営ほか
- **キューピー(株)**(東京都)※
「第14回全日本おかあさんコーラス大会」の協賛
- **キンビール(株)**(東京都)
「キンプラザ大阪」の運営
- **(株)熊本日新聞社**(熊本県)
「ジェーンズとハーン記念祭」の主催
- **クレディ・スイス・ジャパン・オフィス**(東京都)
「スイスアルプス博物館」の運営ほか
- **(財)佐賀銀行文化財団**(佐賀県)※
「佐賀銀行文化財団新人賞」の顕彰
- **(株)産業経済新聞社**(東京都)
「第39回産経児童出版文化賞」の顕彰
- **サントリー(株)**(大阪府)※
「サントリー1万人の『第九』コンサート」の協賛
- **(財)サントリー音楽財団**(東京都)
日本人作曲作品の創造と普及に対する支援

- (財)サントリー文化財団(大阪府)
「サントリー地域文化賞」の顕彰
- (株)三陽商会(東京都)
「サンヨーホールコンサート」の開催
- 三洋信販(株)(福岡県)
「チャイコフスキーの夕べ」の協賛
- (株)CSK(東京都)
「CSK土曜大学」の実施
- (株)資生堂(東京都)
「資生堂アートハウス」の運営
- (有)紫帆ミュージックカンパニー(京都府)
「10万人と触れ合うコンサート」の実施
- 清水建設(株)(東京都)
コーポレート・アート活動
- シャチハタグループ(愛知県)
「第1回ジャパン・アート・スカラシップ」の協賛
- (株)主婦の友社(東京都)
「路傍の石文学賞」ほかの顕彰
- 新日本製鐵(株)(東京都)
「日仏文化会館」建設資金援助ほか
- (財)JR東海生涯学習財団(東京都)※
「山口蓬春記念館」の設立及び運営
- (財)末永文化振興財団(福岡県)※
「末永文化センター」の運営
- (株)すかいらーく(東京都)※
(財)東京交響楽団の演奏活動支援
- (株)住友銀行(東京都)
「ちょっと気取ってクラシック」の開催
- 住友商事(株)(東京都)※
「日本縦断シンポジウム」の協賛
- 住友生命保険(相)(大阪府)
「第15回全日本こども絵画コンクール」の協賛
- セイコーエプソン(株)(長野県)
「サイトウ・キネン・オーケストラ」への支援
- セゾングループ(東京都)
「MUSIC TODAY '91」の開催ほか

- (株)セブン・イレブン・ジャパン(東京都)※
「第1回地球にやさしい作文・活動報告コンテスト」の協賛
- セントラル硝子(株)(東京都)※
「第26回セントラル硝子国際建築設計競技」の協賛
- (財)ソニー音楽芸術振興会(東京都)
「第6回全日本大学オーケストラ大会」の開催
- (株)タカキペーカリー(広島県)
「アンデルセンのメルヘン大賞」の顕彰
- (株)高島屋(大阪府)
「公益信託タカシマヤ文化基金」の顕彰及び助成活動
- (株)竹中工務店(大阪府)
「TAKENAKA ART FORUM '91」の開催
- (株)タダノ(香川県)※
イースター島モアイ像の修復援助
- 第一生命保険(相)(東京都)
「東京ゾリステン」コンサートの協賛
- (株)第四銀行(新潟県)※
「だいしライフアップコンサート」の主催
- (株)チタトチシステム(愛知県)
「レーゲンスブルグ大聖堂少年合唱団」公演の協賛
- チャコット(株)(東京都)※
バレエ・ダンス公演への資金援助ほか
- (株)中国放送(広島県)
「ヒロシマ国際アマチュア映画祭」の主催
- 中部日本放送(株)(愛知県)
「名古屋国際音楽祭」の主催ほか
- TOA(株)(兵庫県)
多目的ホール「ジーベック」の運営
- (株)電通(東京都)
「電通ギャラリー」の運営
- (株)東海銀行(愛知県)
「東海道五十三次・名所江戸百景の世界」展の協賛
- 東急グループ(東京都)※
「東急フォーラム」の主催
- 東京海上火災保険(株)(東京都)
「トウキョウ マリン ギャラリー」の運営

- **東京ガス(株)**(東京都)
「ポケットコンサート」の開催ほか
- **(株)東芝**(東京都)
「東芝グランドコンサート'92」の運営ほか
- **(財)東芝国際交流財団**(東京都)
国内外美術館・博物館への助成活動
- **東陶機器(株)**(福岡県)
「ギャラリー間」の運営
- **東レ(株)**(東京都)*
「英国コートールド美術館」の援助
- **凸版印刷(株)**(東京都)
「日本のポスター100」収集と復刻事業ほか
- **(株)トナカイ**(東京都)*
オペレッタ・サロン「トナカイ」の運営
- **トヨタ自動車(株)**(愛知県)
「ステーション・リゾート・コンサート」の開催ほか
- **(財)道銀文化財団**(北海道)
北海道内における芸術文化振興事業の推進
- **南海電気鉄道(株)**(大阪府)
「南海コンサート」の協賛
- **西日本鉄道(株)**(福岡県)*
「博多どんたく」の協賛
- **日産自動車(株)**(東京都)
「第8回ニッサン童話と絵本のグランプリ」の協賛
- **日産プリンス宮城販売(株)**(宮城県)
「カーモニースクエア長町JAZZコンサート」の開催
- **日本アイ・ビー・エム(株)**(東京都)
「IBMウェルフェア・コンサート」の開催ほか
- **日本アムウェイ(株)**(東京都)
「拡張する美術：アメリカン・アート」展の協賛
- **日本鉱業(株)**(東京都)*
「ギャラリー日鉱」の運営
- **(株)日本興業銀行**(東京都)
「日本興業銀行合唱団第24回リサイタル」の開催
- **(株)日本交通公社**(東京都)
JTB「旅行文化講演会」の開催ほか

- **日本水産(株)**(東京都)※
「『海とさかな』自由研究作品コンクール」の協賛
- **日本生命保険(相)**(東京都)
「ニッセイ名作劇場」の協賛ほか
- **日本たばこ産業(株)**(東京都)
「JTカルチャーコロンプス92」の実施
- **日本通運(株)**(東京都)※
「母と子で空想する絵と作文コンクール」の協賛
- **日本電気(株)**(東京都)
「小澤征爾ボストン交響楽団」北米・欧州公演の協賛
- **日本マクドナルド(株)**(東京都)※
「東洋と西洋の出会いコンサート」の主催
- **日本ミリポア リミテッド**(東京都)
「横浜国立大学工学部」へのバイオ分離工学講座開設
- **日本メナード化粧品(株)**(愛知県)※
「メナード美術館」の運営
- **日本ロレックス(株)**(東京都)
「ロレックス『時の記念日』コンサート」の開催
- **ネススル日本(株)**(兵庫県)※
「ネスカフェ・ゴールドブレンド・コンサート」の協賛
- **(株)能力開発センター**(兵庫県)
「ジュニアサミットキャンプ」の開催
- **ハウス食品工業(株)**(大阪府)
ミュージカル「イカれた主婦2」の協賛ほか
- **(株)パーソンズ**(東京都)
コーポレートアート活動
- **(株)肥後銀行**(熊本県)※
「肥後の水資源愛護賞」の顕彰
- **(株)日立製作所**(東京都)
「大相撲ロンドン公演」の協賛
- **広島信用金庫**(広島県)
「ひろしま平和能楽祭」の開催ほか
- **ぴあ(株)**(東京都)
「PFF '91(ぴあフィルムフェスティバル)」の運営
- **富士ゼロックス(株)**(東京都)
「ART BY XEROX」の運営

- (株)フジタ(東京都)
「フジタヴァンテ」の運営
- 富士通(株)(東京都)
「第7回園田高弘ピアノコンクール」の協賛ほか
- (株)ブロードウェイギャラリー(東京都)
「第2回フィラン大賞展」の開催ほか
- (株)紅三(東京都)
「ベニサン・スタジオ」、「ベニサン・ピット」の運営
- 北陸電力(株)(福井県)※
「ほくでん親子ふれあいステージ」の開催
- (財)ポーラ伝統文化振興財団(東京都)※
わが国の伝統文化保存、伝承、普及、振興に関するメセナ活動
- (株)毎日新聞社(東京都)
点字週刊新聞「点字毎日」の発行
- (財)真柄教育振興財団(石川県)
読書活動の普及・推進および生涯学習の振興事業
- 松下電器産業(株)(大阪府)※
「パナソニック・グローブ座」への支援
- (株)丸井今井(北海道)
「さっぽろ国際現代版画ビエンナーレ展」の協賛
- 三浦印刷(株)(東京都)
カラースライド「多色印刷の源流 錦絵」の制作等
- ミサワホーム(株)(東京都)
環境音楽のCDシリーズの制作
- 三井不動産(株)(東京都)
劇団四季ミュージカル「李香蘭」の協賛
- 三井不動産販売(株)(東京都)※
「日本ファンタジーノベル大賞」の主催
- 三菱信託銀行(株)(東京都)
助成財団による音楽芸術への助成活動
- (株)南日本放送(鹿児島県)
「MBCユースオーケストラ」の運営
- (株)源吉兆庵(岡山県)※
ミニコンサート「和みのひととき」の開催
- ミノルタカメラ(株)(大阪府)
「第3回日本リーダーシップセミナー」の主催

- (株)宮崎太陽銀行(宮崎県)
「新春講演会」の開催
- 明治生命保険(相)(東京都)
明治生命ミュージカル「アニー」への協賛ほか
- (株)メモリアルアートの大野屋(東京都)
「メモリアルクラシックコンサート」の開催
- (株)ヤギコーポレーション(石川県)
「YAGI ART THEATER」の開催
- (財)ヤギメセナファンデーション(石川県)※
「ヤギスクールシアター」の主催
- 安田火災海上保険(株)(東京都)
「安田火災人形劇場ひまわりホール」の運営ほか
- (株)ユーハイム(兵庫県)
「ゲーテの詩・朗読コンテスト」の主催
- (株)ライカ(大阪府)
現代美術シリーズ「明日の芸術」展の主催
- (株)リクルート(東京都)
多目的空間「ガーディアン・ガーデン」の運営ほか
- リコー三愛グループ三愛会(東京都)
「文化講演会」の開催ほか
- (株)リブラン(東京都)
「第3回リブラン創作童話」コンクールの主催ほか
- (株)ワコール(京都府)※
「ロココの華麗な衣裳」展の支援ほか
- トヨタ自動車(株)、日本航空(株)、野村證券(株)、松下電器産業(株)※
「パシフィック・ミュージック・フェスティバル」の協賛
- 日本アイ・ビー・エム(株)、日本電信電話(株)※
「第6回いけばな世界大会」の協賛

企業メセナ協議会会員リスト(1992年11月1日現在)

正会員

- | | | |
|----------------------|-----------------------|-----------------|
| 1 (株)I&S | 32 キヤノン(株) | 63 住友海上火災保険(株) |
| 2 (株)朝日広告社 | 33 (株)求龍堂 | 64 (株)住友銀行 |
| 3 (株)朝日新聞社 | 34 京セラ(株) | 65 住友生命保険(相) |
| 4 朝日生命保険(相) | 35 キリンビール(株) | 66 セイコーエプソン(株) |
| 5 (株)旭通信社 | 36 (株)ギャラリーさく | 67 (株)世界文化社 |
| 6 アサヒビール(株) | 37 クレディ・スイス・ジャパン・オフィス | 68 積水化学工業(株) |
| 7 朝日放送(株) | 38 (株)京王プラザホテル | 69 セコム(株) |
| 8 味の素(株) | 39 (株)現代彫刻センター | 70 セゾングループ |
| 9 (株)アッド | 40 (株)光文社 | 71 セントラル警備保障(株) |
| 10 イオングループ | 41 コンプリホテルジャパン(株) | 72 セントラルリース(株) |
| 11 (株)INAX | 42 (株)さくら銀行 | 73 全国朝日放送(株) |
| 12 イムカ(株) | 43 (株)佐谷画廊 | 74 全日本空輸(株) |
| 13 岩尾磁器工業(株) | 44 (株)産業経済新聞社 | 75 (株)草土舎 |
| 14 インターアート(株) | 45 サントリー(株) | 76 ソニー(株) |
| 15 (株)ウスイ・コミュニケーションズ | 46 (株)三陽商会 | 77 大正製薬(株) |
| 16 (株)エイ・アイ・エイ | 47 三洋電機(株) | 78 武田薬品工業(株) |
| 17 (株)エフエム京都 | 48 (株)資生堂 | 79 (株)竹中工務店 |
| 18 (株)エフエム東京 | 49 清水建設(株) | 80 (株)淡交社 |
| 19 エルメス ジャパン(株) | 50 シヤチハタ工業(株) | 81 (株)第一勧業銀行 |
| 20 王子製紙(株) | 51 (株)集英社 | 82 第一企画(株) |
| 21 オータ事務所(株) | 52 (株)主婦と生活社 | 83 第一生命保険(相) |
| 22 (有)大庭音楽事務所 | 53 (株)主婦の友社 | 84 ダイカンホーム(株) |
| 23 オムロン(株) | 54 (株)小学館 | 85 (株)大広 |
| 24 (株)オリエントコーポレーション | 55 松竹(株) | 86 大東京火災海上保険(株) |
| 25 オリックス(株) | 56 昭和電工(株) | 87 大日本印刷(株) |
| 26 (株)オンワード樫山 | 57 (株)シライシ画廊 | 88 (有)大和工務店 |
| 27 花王(株) | 58 (株)新潮社 | 89 大和証券(株) |
| 28 鹿島建設(株) | 59 新日本製鐵(株) | 90 秩父セメント(株) |
| 29 鐘紡(株) | 60 (株)ジェイブ | 91 (株)テレビ東京 |
| 30 カルティエ ジャパン(株) | 61 (株)ジェーワン | 92 (株)電通 |
| 31 勸角証券(株) | 62 十條製紙(株) | 93 東海旅客鉄道(株) |

準会員

- | | | |
|-----------------|------------------|--------------------|
| 1 財愛知県文化振興事業団 | 8 熊本県庁 | 15 (株)シー・ディー・アイ |
| 2 APA芸術振興協会 | 9 慶應義塾大学文学部DNP基金 | 16 (有)四季コミュニケーションズ |
| 3 (株)岡設計 | 10 芸術文化交流の会 | 17 (株)社会工學研究所 |
| 4 神奈川県庁 | 11 (株)劇団影ぼうし | 18 昭和音楽大学 |
| 5 (学)河合塾生涯教育開発室 | 12 劇団四季 | 19 全日産・一般業種労働組合連合会 |
| 6 京都商工会議所 | 13 (株)劇団飛行船 | 20 中央区文化・国際交流振興協会 |
| 7 (財)京都服飾文化研究財団 | 14 (株)三和総合研究所 | 21 地人会 |

- | | | |
|-----------------------|---------------------|---------------------|
| 94 (株)東急エージェンシー | 125 日本電気(株) | 156 松下電器産業(株) |
| 95 東急建設(株) | 126 日本電信電話(株) | 157 (株)マルチサービス |
| 96 (株)東急百貨店 | 127 日本電波塔(株) | 158 丸紅(株) |
| 97 東急不動産(株) | 128 (株)日本フランコニー | 159 ミサワホーム(株) |
| 98 東京ガス(株) | 129 (株)能力開発センター | 160 三井観光開発(株) |
| 99 東京急行電鉄(株) | 130 野村證券(株) | 161 三井不動産(株) |
| 100 東京電力(株) | 131 (株)博報堂 | 162 (株)三越 |
| 101 (株)東京ドーム | 132 服部物産(資) | 163 (株)三菱銀行 |
| 102 TBS(株)東京放送 | 133 (社)林原共済会 | 164 三菱信託銀行(株) |
| 103 (株)十勝毎日新聞社 | 134 バイオニア(株) | 165 三菱重工業(株) |
| 104 凸版印刷(株) | 135 (株)ヒューマンウェア研究所 | 166 メルシャン(株) |
| 105 トヨタ自動車(株) | 136 東日本旅客鉄道(株) | 167 (株)ヤギコーポレーション |
| 106 同和火災海上保険(株) | 137 (株)美研 | 168 安田火災海上保険(株) |
| 107 西日本旅客鉄道(株) | 138 びあ(株) | 169 安田生命保険(相) |
| 108 (株)ニチレイ | 139 ファイザー(株) | 170 山武ハネウエル(株) |
| 109 日産自動車(株) | 140 (株)富士銀行 | 171 ヤマト運輸(株) |
| 110 日東興業(株) | 141 富士ゼロックス(株) | 172 ヤマハ(株) |
| 111 (株)ニッポン放送 | 142 (株)フジタ | 173 雪印乳業(株) |
| 112 日本アイ・ビー・エム(株) | 143 富士通(株) | 174 (株)読売エージェンシー |
| 113 日本アムウェイ(株) | 144 (株)フジテレビジョン | 175 (株)読売広告社 |
| 114 日本火災海上保険(株) | 145 (株)富士プロジェクト | 176 (株)読売新聞社 |
| 115 (株)日本経済新聞社 | 146 (株)婦人画報社 | 177 (株)リクルート |
| 116 (株)日本コーポレートアート研究所 | 147 (株)ブリヂストン | 178 リコー三愛グループ三愛会 |
| 117 日本航空(株) | 148 (株)ブロードウェイギャラリー | 179 ルイ・ヴィトン ジャパン(株) |
| 118 (株)日本交通公社 | 149 (株)文藝春秋 | 180 (株)レナウン |
| 119 日本酸素(株) | 150 (株)ホワイトビーアール | 181 (株)ワコール |
| 120 日本食研(株) | 151 本州製紙(株) | |
| 121 日本信販(株) | 152 本田技研工業(株) | |
| 122 日本生命保険(相) | 153 (株)毎日コミュニケーションズ | |
| 123 日本たばこ産業(株) | 154 (株)毎日新聞社 | |
| 124 日本テレビ放送網(株) | 155 (株)マガジンハウス | (五十音順) |

- | | | |
|--------------------|--------------------|----------------|
| 22 東海メセナ研究会 | 29 (社)日本芸能実演家団体協議会 | 36 (財)余暇開発センター |
| 23 東京バレエ劇場バレエ団 | 30 (財)日本交通文化協会 | 37 リューズ(株) |
| 24 (社)栃木生活文化総研 | 31 (学)日本放送協会学園 | |
| 25 (株)トライビジョン | 32 (株)フジテレビギャラリー | |
| 26 財堂本印象記念近代美術振興財団 | 33 (財)水戸市芸術振興財団 | |
| 27 (社)日本演奏連盟 | 34 矢島邦茂法律事務所 | |
| 28 (財)日本オペレッタ協会 | 35 (株)ユーマック | (五十音順) |

企業メセナ協議会 役員 (1992年11月現在・五十音順)

会 長 鈴木 治雄 昭和電工株式会社名誉会長

副 会 長 佐 治 敬 三 サントリー株式会社会長
塚 本 幸 一 株式会社ワコール会長
堤 清 二 株式会社セゾンコーポレーション会長
西 尾 信 一 第一生命保険相互会社会長

理 事 長 福 原 義 春 株式会社資生堂社長

理 事 天 谷 直 弘 株式会社電通総研社長・研究所長
石 川 六 郎 鹿島建設株式会社会長
稲 盛 和 夫 京セラ株式会社会長
大 賀 典 雄 ソニー株式会社社長
後 藤 康 男 安田火災海上保険株式会社社長
椎 名 武 雄 日本アイ・ビー・エム株式会社社長
柴 田 俊 治 朝日放送株式会社専務取締役
関 澤 義 富士通株式会社社長
関 本 忠 弘 日本電気株式会社社長
竹 中 統 一 株式会社竹中工務店社長
豊 田 章 一 郎 トヨタ自動車株式会社会長
中 江 利 忠 株式会社朝日新聞社社長
樋 口 廣 太 郎 アサヒビール株式会社会長
平 岩 外 四 東京電力株式会社会長
松 沢 卓 二 株式会社富士銀行相談役
松 橋 功 株式会社日本交通公社社長
三 沢 千 代 治 ミサワホーム株式会社社長
山 口 開 生 日本電信電話株式会社会長

監 事 中 村 一 郎 株式会社第一勧業銀行相談役
吉 野 照 蔵 清水建設株式会社会長

専務理事 根 本 長 兵 衛 共立女子大学教授

特別顧問 永 井 道 雄 財団法人国際文化会館理事長

「メセナ大賞1993」の応募要項は
1993年3月末頃発表する予定です。
詳細は企業メセナ協議会事務局まで
お問い合わせください。

大賞部会メンバー

部会長／富岡 隆夫(朝日新聞社 文化企画担当)

メンバー／大坂 一義(読売新聞社 広告局 参与)

川崎 正蔵(株朝日広告社 営業第7局長)

田中 敬久(富士通株 社会活動推進室長)

中島 和枝(日本アイ・ビー・エム株 社会貢献課長)

森下 恵代(株ミサワホーム総研 文化事業部マネージャー)

安田 憲二(株博報堂 文化事業部 企画ディレクター)

事務局・専務理事／根本長兵衛

大賞担当／高井光子・野呂健男・久保田大介

1992年11月30日 発行・社団法人 企業メセナ協議会／企画制作・朝日広告社

Association for Corporate Support of the Arts
社団法人 企業メセナ協議会

〒100 東京都千代田区有楽町2丁目5番1号 有楽町マリオン13階

Tel.03-3213-3397 Fax.03-3215-6222